

昭和100年・戦後80年記念企画展 「昭和という時代」展 PART I

# 戦争の時代

展示期間：令和7年7月15日（火）～8月30日（土） 日月祝休館日



戦友を茶毘にふす（個人所蔵）

太田町史編さん資料



## 「昭和という時代」展 PART I

# 戦争の時代

令和 7 年は昭和 100 年、戦後 80 年の節目の年に当たります。

「昭和」は最長の 64 年を数え、また、戦前・戦中・戦後という近代以降の日本を象徴する時代であったと言えます。日本は敗戦を機に平和憲法とも言われる「日本国憲法」を制定し、戦争のない新たな道を歩んでいます。高度経済成長のもと、80 年前には夢物語であった便利で豊かな暮らしが実現しました。

しかし、戦後も日本は沖縄の米軍統治や返還後の基地問題、隣接する東アジア諸国やロシアとの国境問題など、平穏の日々を過ごしたわけではありません。さらに、ウクライナ戦争やパレスチナ問題など、世界では民族紛争や国境問題が相次いでいます。世界各地で起こっている争いは私たちの生活に影響を与え、80 年前の出来事は決して遠い過去ではありません。

こうした背景から、令和 7 年度の企画展は前後期に分けて「昭和という時代」展を開催いたします。前期は「戦争の時代」をテーマに、大仙市に残された記録から人びとの戦争の記憶を振り返ります。本展示をとおして、悲惨な戦場の様子や戦中・戦後の生活の困難さに思いを馳せる機会にしていただければ幸いです。

令和 7 年 7 月

大仙市アーカイブズ館長